

# こどもの居場所からの意見聴取 アンケート調査結果

---

令和6年10月

# 調査概要

## (1) 調査目的

こどもの居場所の職員へのアンケート調査を通じて、居場所を利用しているこどもの声、状況を把握する。

## (2) 対象者

放課後児童クラブ、児童館、こども食堂、フリースクール等の職員

## (3) 調査方法

WEBフォームによるアンケート調査

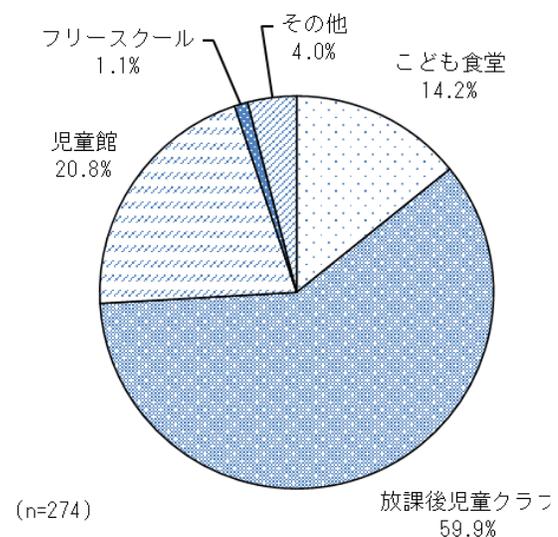
## (4) 対象者

有効回答数 274件

# 基本情報

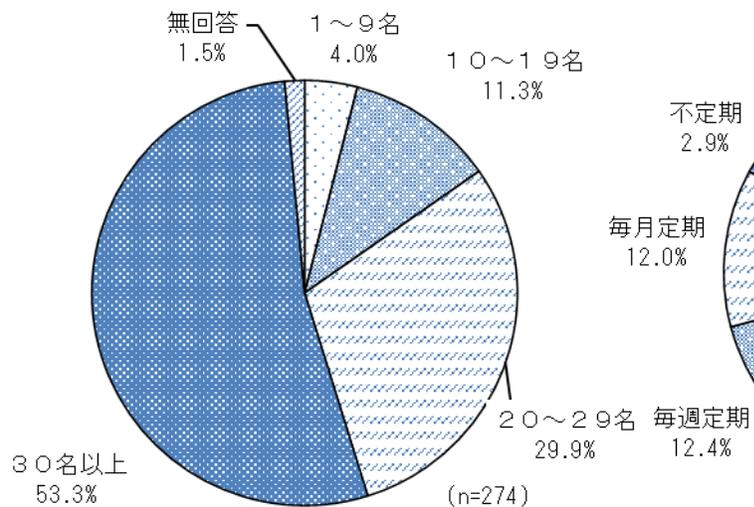
## 問1. 回答者の割合

「放課後児童クラブ」が59.9%、「児童館」が20.8%、「こども食堂」が14.2%



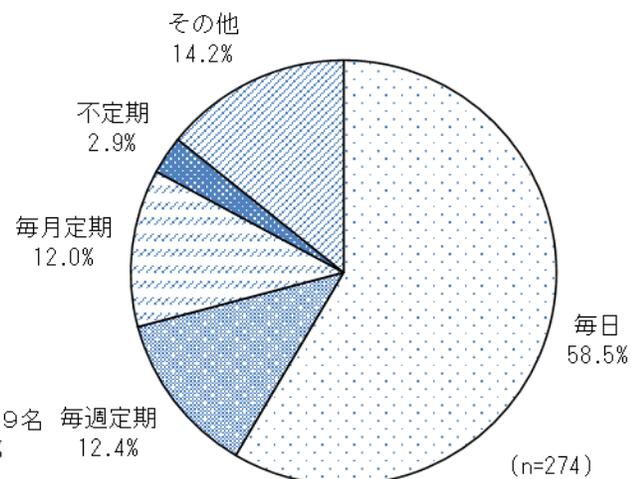
## 問2. 利用しているこどもの人数

「30名以上」が53.3%で最も多く、次いで「20～29名」が29.9%、「10～19名」が11.3%となっています。



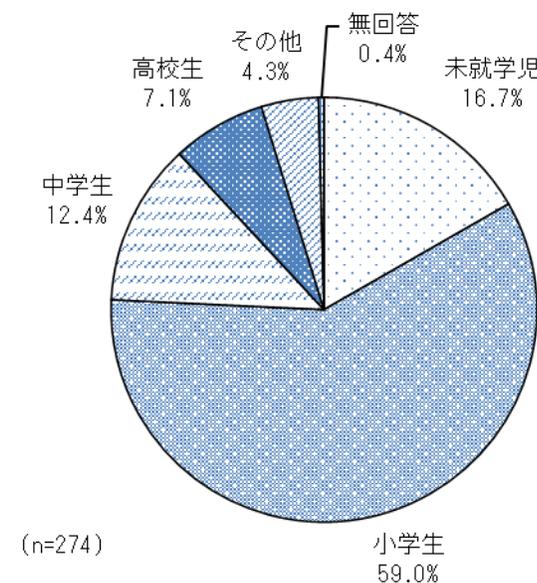
## 問3. 開催頻度

「毎日」が58.4%で最も多く、次いで「その他」が14.2%、「毎週定期」が12.4%となっています。



## 問4. 利用しているこどもの年齢

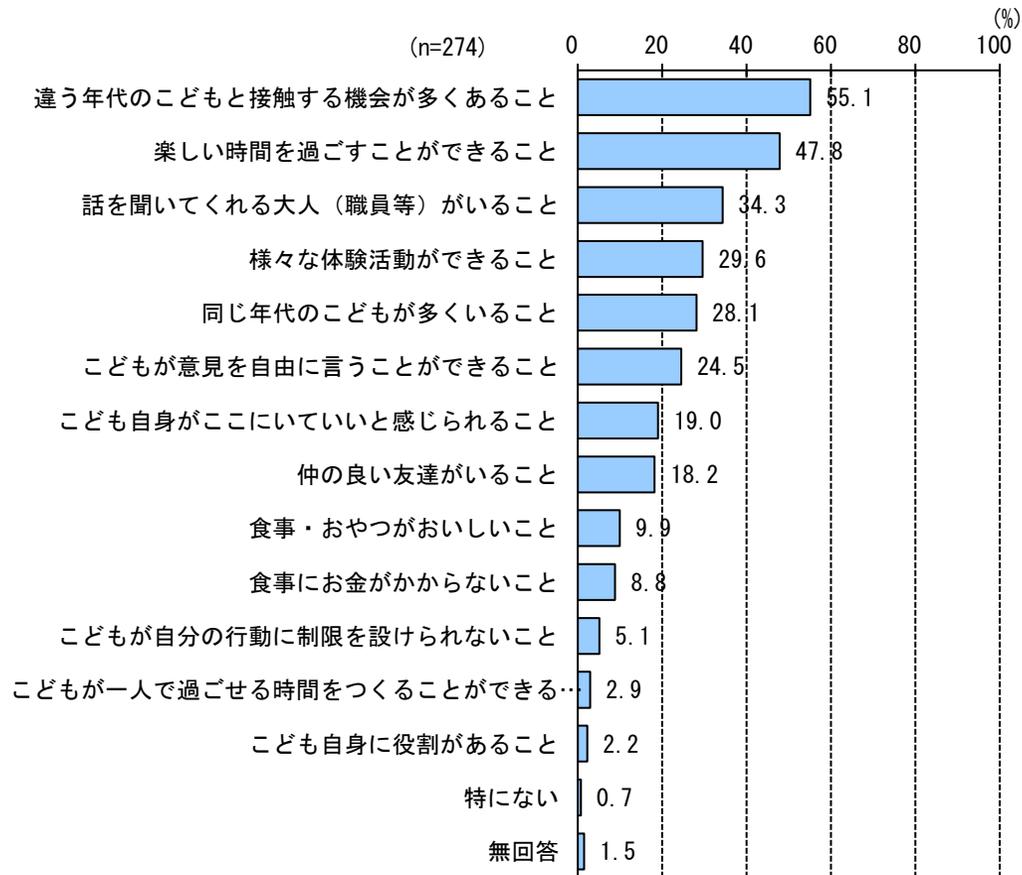
「小学生」が59.0%で最も多く、次いで「未就学児」が16.7%、「中学生」が12.4%となっています。



# 調査結果

問5. 貴施設の強み（こどもたちが気に入っている点など）はどこですか。（主なものを3つを選択）

「違う年代のこどもと接触する機会が多くあること」が55.1%で最も多く、次いで「楽しい時間を過ごすことができること」が47.8%、「話を聞いてくれる大人（職員等）がいること」が34.3%となっています。



問6. 問5の回答について、こどもたちの状況や、こどもたちの声を教えてください。（一部抜粋）

## ○違う年代のこどもと接触する機会が多くあること

- ・「高学年の子とバドミントンをして、バドミントンが上手になった」
- ・赤ちゃんから高齢者までいろんな世代が参加している。赤ちゃんを抱っこして「癒される～」と奪い合いしたり、小学生が高校生に甘えているのもほほえましい。

## ○楽しい時間を過ごすことができること

- ・「行事やイベントがあり、楽しい。」といった声がある。
- ・「行けば誰かがいて、楽しくすごせる。」

## ○話を聞いてくれる大人（職員等）がいること

- ・「家族のこんなことに腹が立っている」「学校でこんなことがあって嫌な気持ち」など、家族や学校で言えないことを相談してくれる。
- ・学校でこんなことがあったよ、家族でどこどこへ行ってきたよなどいろんな話を職員に話してくれ、聞いてもらい終わるまで職員の側から離れない場面がよくある。

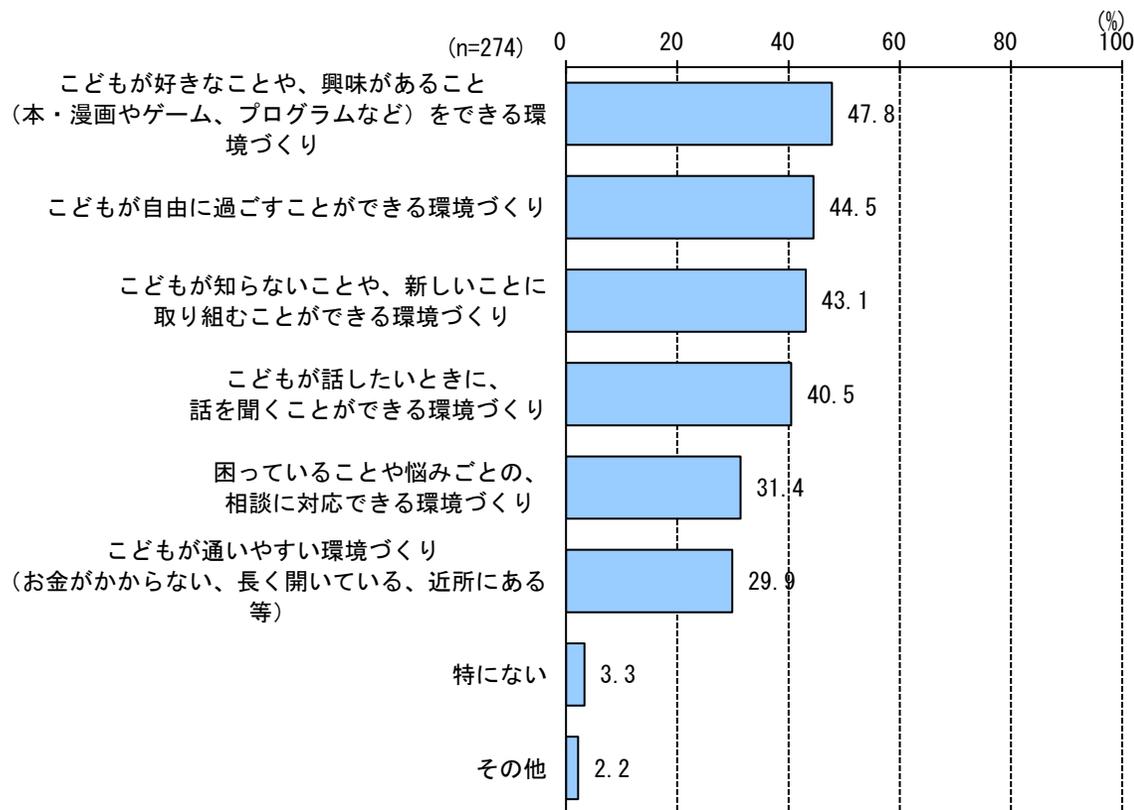
## ○様々な体験活動ができること

- ・「お家ではできないことができて楽しい」
- ・「コミセンや公民館、地域と一緒に防災教室・出前教室・農業体験・藍染め体験など無料で参加できて楽しい、次いつありますか？」といった声がある。
- ・「長期休みの遠足やイベントが楽しい」

# 調査結果

問7. 貴施設が、より良くなるために望まれていると考えること（こどもたちが、もっとこうして欲しいと求めている点など）があれば、教えてください。（主なもの3つを選択）

「こどもが好きなことや、興味があること（本・漫画やゲーム、プログラムなど）をできる環境づくり」が47.8%で最も多く、次いで「こどもが自由に過ごすことができる環境づくり」が44.5%、「こどもが知らないことや、新しいことに取り組むことができる環境づくり」が43.1%となっています。



問8. 問7の回答について、こどもたちの状況や、こどもたちの声を教えてください。（一部抜粋）

## ○こどもが好きなことや、興味があることをできる環境づくり

- ・「マンガや本、おもちゃを増やして欲しい」「外で遊びたい(熱中症警報アラートが発令の為、2カ月程外遊び出来ず)」といった声がある。
- ・「ダンスしたい!」などの声をきいてYouTubeかけて皆で踊っている。

## ○こどもが自由に過ごすことができる環境づくり

- ・「1人の時間がほしい。高学年が過ごせる部屋がほしい」
- ・「もっと広い、のびのびと遊べる場所が欲しい」

## ○こどもが知らないことや、 新しいことに取り組むことができる環境づくり

- ・学んだことを「家に帰ってやってみる!お母さんに作ってあげる」といった声がある。
- ・このみんなでお出掛けしたいとか、チャレンジしたいことがあるとお話のなかで言ってくれています。

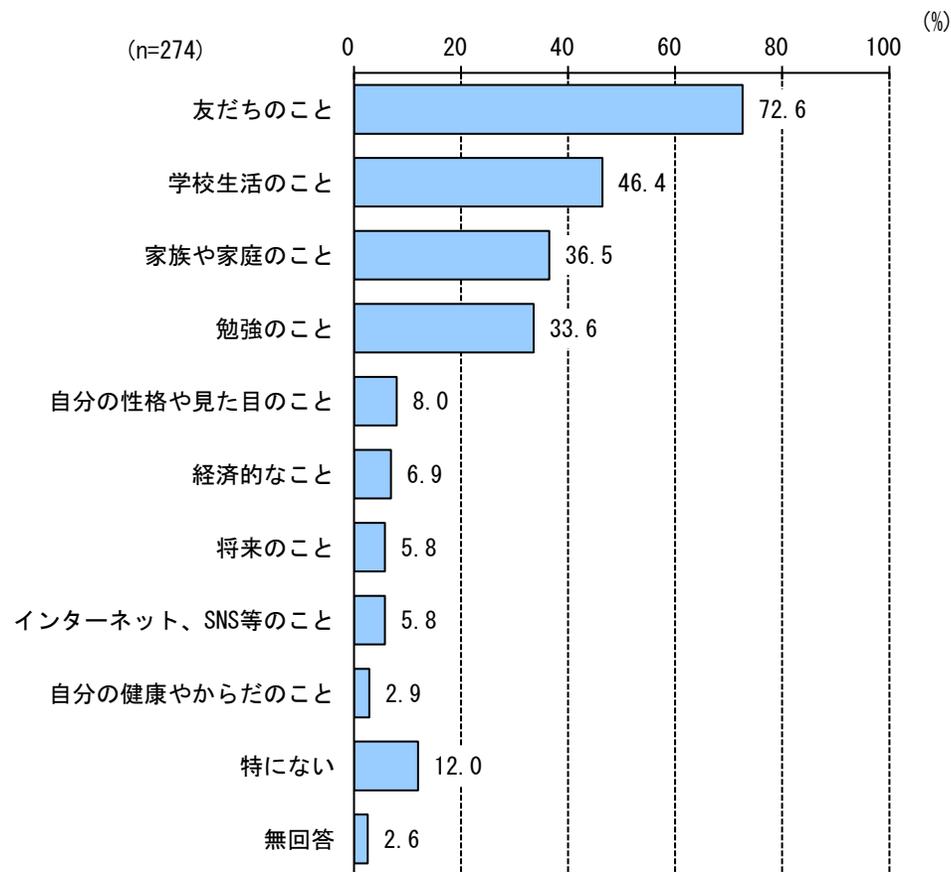
## ○こどもが話したいときに、話を聞くことができる環境づくり

- ・一緒にパズルやお絵かきをしているときに、あったことをぽつりぽつりと話始める。
- ・話をしたいときにできないことがある。学童へ帰ってくると「見て見て」「聞いて聞いて」とこどもたちは自分のことを見てほしい、聞いてほしい気持ちがいっぱいです。できるだけ寄り添ってあげたいです。

# 調査結果

問9. 貴施設に通う子どもたちが抱えている問題は、どのようなものですか。（主なものを3つを選択）

「友だちのこと」が72.6%で最も多く、次いで「学校生活のこと」が46.4%、「家族や家庭のこと」が36.5%となっています。



問10. 子どもたちが、毎日楽しく、生き生きと暮らすために、大人に望むこと、必要としているサポートはどのようなことであると考えますか。（一部抜粋）

どのような家庭環境であれ、子どもが今後、自立していけるようなサポートが必要。

子どもの声に耳を傾けて、職員で情報共有をし、学童で出来る範囲の保護者サポートに繋がるように、常に保護者と話ができるようにしていき、小学校や関係機関とも情報共有やサポートが受けれる体制を築いていけるようにしておく必要がある。

毎日しっかり食事ができること。ゆっくり眠れること。自由に過ごす時間を確保すること（習い事や塾に時間を取られて、忙しすぎる子どもが多いようだ）

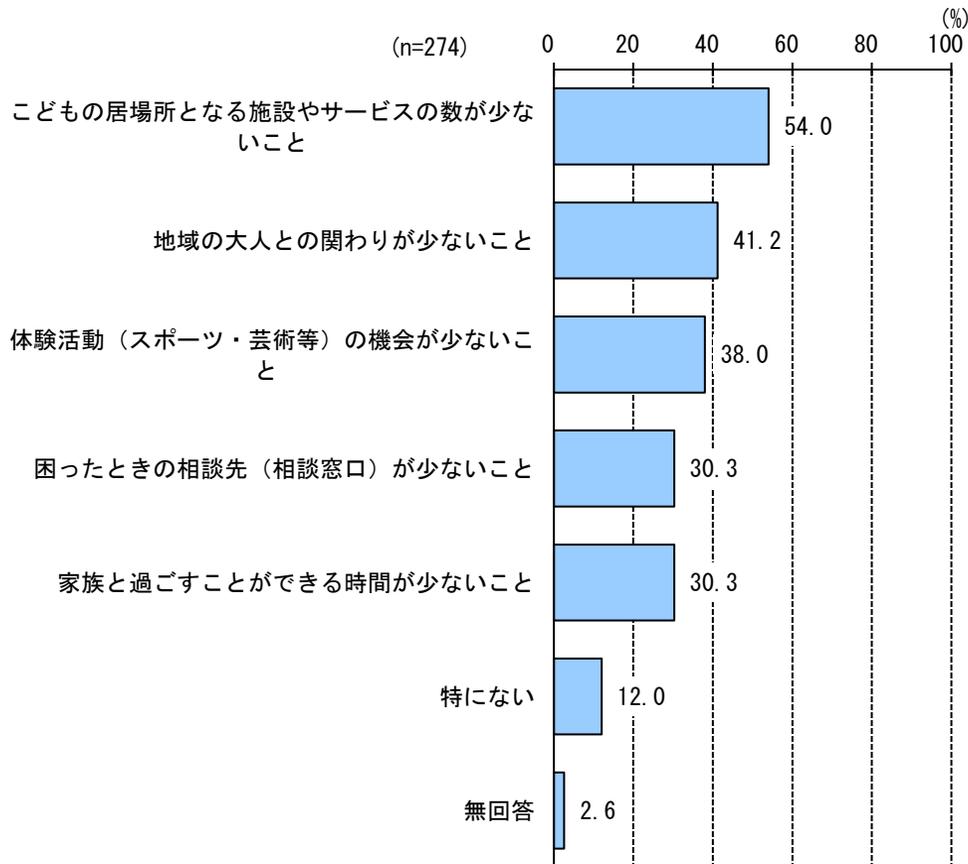
子どもの意見をちゃんと聞いてあげる。面倒がらずに説明するなど、お互いの話し合いは必要。

多様な学びや選択、全ての子どもたちの学びが保障された社会の実現に向けて大人、保護者や子どもと関わる全ての人へ理解が広まること

# 調査結果

問11. 貴施設に通う子どもたちを取り巻く地域の課題は何であると  
考えますか。（主なものを3つを選択）

「こどもの居場所となる施設やサービスの数が少ないこと」が54.0%で最も多く、次いで「地域の大人との関わりが少ないこと」が41.2%、「体験活動（スポーツ・芸術等）の機会が少ないこと」が38.0%となっています。



問12. 問11で回答した課題を解決するためには、どんな支援や仕  
組みがあればよいと考えますか。（一部抜粋）

## ○こどもの居場所となる施設やサービスの数が少ないこと

- ・自治体の持つ施設を有効に使用する。こどもが発散できる場所やイベントを行政や地域の大人たちで準備してあげる。

## ○地域の大人との関わりが少ないこと

- ・地域の大人の人々がけん玉や竹とんぼの得意な人がいれば、学童に教えに来ていただきたいと思います。
- ・子どもたちが安全に外へ遊びに出られる環境がだんだんなくなってきている。保護者や地域の方の自然な見守りの中で遊ぶことがなくなっていることをなんとかできたらいいな、と思う。

## ○体験活動（スポーツ・芸術等）の機会が少ないこと

- ・地方の僻地に行けば行くほど公共交通機関、そして文化的なものに触れ合う事が少ないので、例えば汽車やバスなどの交通機関を利用してコンサートや展示会などに参加する、などのイベントがあれば良いのにとおもいます。

## ○困ったときの相談先（相談窓口）が少ないこと

- ・児童館ファンを増やす！職員は地域の子どもたちを100%応援団の気持ちを持って接し、一緒に遊ぶことを通じて信頼関係を築いていくことが結果、子どもたちにとっての課題解決にもつながるのではと考えている。

## その他の御意見（一部抜粋）

遊びや交流を通してこどもたちの成長を見守ることの大切さを改めて考えさせられました

こどもから直接回答できるオンラインアンケートの実施も有効かと思います

地域で協力して子育てに携われるのが理想なのに、と悲しく思うこともあります。せめて自分が関わっている児童たちが健やかに過ごせる、ほんの少し息が抜けるようなそういう場所であればと思います。また、こども食堂を開催することにより高齢者の生きがいに繋がればもっと地域の繋がりも深まるのではないだろうか。

こどもだけでなく保護者もいつでも活用出来る居場所が出来ればと思います

ありがとうございました。こんなことしか言えませんが、アンケート記入させていただいて良かったと思います。いろいろな意見が集まって良い子育て環境になることを願っています

このアンケートを通して、学童クラブに通うこどもたちがより過ごしやすい環境になっていくことを楽しみにしています

自分たちの役割や課題を、ふりかえる機会になりました

アンケートを回答して、改めて学童の居場所がこどもたちにとってどんな場所なのかを再認識しました

これからのこどもたちが安心・安全に過ごせる社会が訪れることを願います